

神宮寺便り



清明祭 裕俊

四月の行事といえば、沖縄県民の皆様は清明祭を真っ先に思い浮かべるかと思いますが、清明に何故お墓参りをするかご存知ですか？

清明というのは、二十四節気の一つです。二十四節気というのは、太陽の黄道（地球から見て太陽が移動する天球上の通り道のこと）上の動きを横径（黄道を360度に分けたもの）の15度ごとに二十四等分して約十五日ごとに分けた季節のことで、中国で成立し、江戸時代に日本でも使われる様になりました。春分、夏至、秋分、冬至などは皆様になじみがありますよね。

清明にお墓参りをする理由は、この季節になると、雨が次第に多くなるからです。中国では、親孝行が非常に重要視され、儒教には「生者に仕える如く死者に仕える」という教えもあります。そのため、雨季が来る前に、一年間風雨にさらされてきた先祖のお墓をきれいにし、草刈りや土盛りをし、お供えものをして、先祖を供養する、という訳です。

沖縄ではウチカビ（紙のお金）を燃やしますが、中国ではお金だけではなく、紙で作った様々な物（冷蔵庫や車、スマートフォンまで！）も燃やします。これは、亡くなった人が、あの世でも現世と同じ様な生活が出来る様に、という考え方からです。皆様も清明の際には、故人様が好きだったものを紙で作ってみてはいかがでしょうか？

また、四月は仏教の開祖であるお釈迦さまの誕生を祝う花まつりがあります。四月八日がお釈迦さまの誕生日なのですが、神宮寺では四月二日（木）の十九時より花まつり法要を行います。詳細は別紙「4月の神宮寺」をご覧ください。是非皆様も参加されて、お釈迦さまとご縁を結ばれてはいかがでしょうか。

高野山へのいざない 良啓

今年、真言宗の開祖空海が高野山（和歌山県）を開かれて千二百年の記念年です。そして、今月四月二日～五月三十一日までの五〇日間は記念大会と銘打って、山内で様々な行事が開催されます。そこで、数回に渡り高野山のお薦めスポットをご紹介します。

さて、その高野山が「天下の総菩提所」と呼ばれていることをご存知ですか？

町の一番奥には空海の墓所がありますが、そこまでの道々に20万基以上と言われる大小の墓石が林立しています。なんと織田信長と明智光秀のお墓が近くにありますが！ぜひ、皆さんの目で確かめに行ってみてください。



明智光秀墓所



織田信長墓所

